

# SANKEN



## DX REPORT 2025

三建設備工業株式会社

デジタルデータが  
ビジネスを変革する

# SANKEN DX デジタルデータによるビジネス変革

生産性向上や外部環境変化に対応したビジネスモデル革新のために、デジタルトランスフォーメーション (DX) は欠かせない要素です。  
三建設備工業では、DX推進に向けて社員全員が取り組みを加速しています。

## DX戦略 01

P 3

### DXによる 新たな価値の創出

- ・Sanken Construction System (SCS)  
により施工環境をデザイン



## DX戦略 02

P 5

### 地球環境を 向上させる技術

- ・Sanken Smart BA System<sup>®</sup>  
による持続可能な社会をつくる



## DX戦略 03

P 7

### デジタル技術と データ活用による 新たな価値の創出

- ・物件データの収集・解析、発信・運用



## DX戦略 04

P 9

### 人を育てる

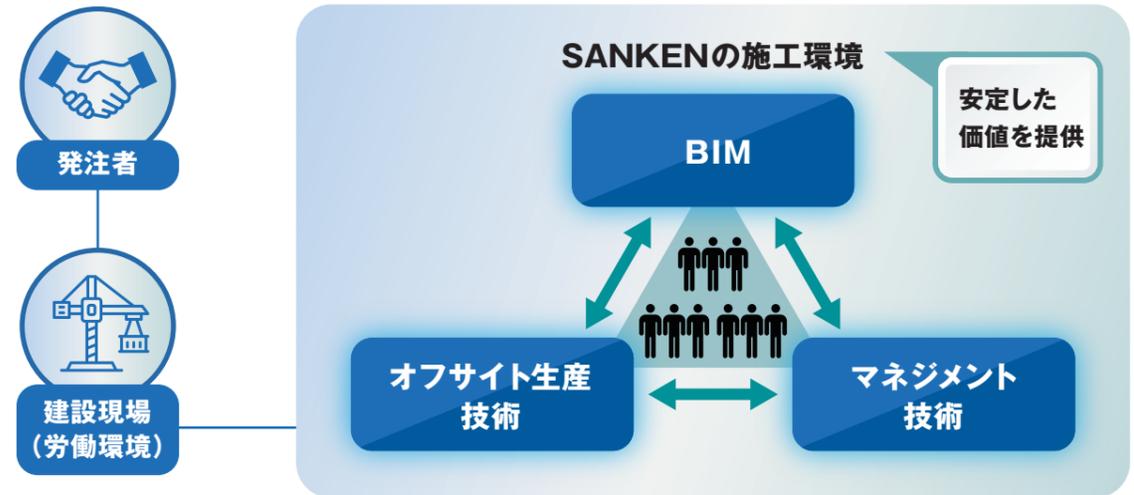
- ・DX人材の育成  
(学ぶ力でDXを加速する)



# DXによる新たな価値の創出

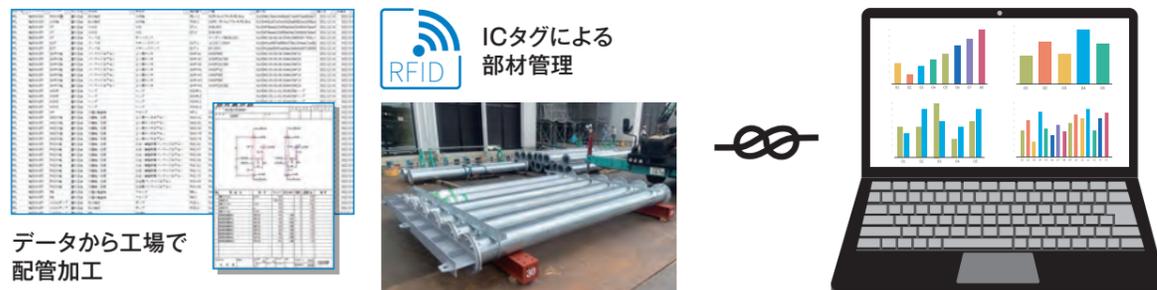
## Sanken Construction System (SCS) により施工環境をデザイン

私たちは、最高のパフォーマンスを引き出す「施工環境エコシステム」を構築する企業へと進化します。その実現のため、BIMを中核に据えた「オフサイト生産技術」による建設プロセスの変革と、「マネジメント技術」によるサプライチェーン全体の最適化を両輪で推進します。これにより、労働集約的な業界構造から脱却し、予測困難な時代においてもお客様に最高の価値を提供し続ける、持続可能な建設事業の実現を目指します。



### オフサイト生産技術

BIMを活用したデジタルファブリケーション技術により、加工データと管理システムのスムーズな連携を実現しています。DfMA（製造・組立を考慮した設計）に基づき、プレカット、加工管、ユニット化の最適化を進めていきます。この技術を基盤として、施工実績を積み重ねることで、さらに高度なモジュール化を見据え、DfMAを一層進化させていくことを目指します。



### マネジメント技術

私たちがこれまで培ってきた知識と経験をデータとして蓄積することで、サプライチェーン全体を最適にマネジメントしていきます。設計・施工・維持管理における様々なデータを統合/分析する基盤としてSCSを開発し、建設プロセス全体の管理を実現します。

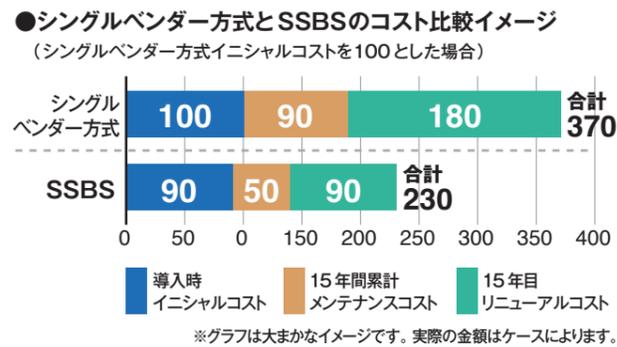


# 地球環境を向上させる技術

## Sanken Smart BA System® による持続可能な社会をつくる

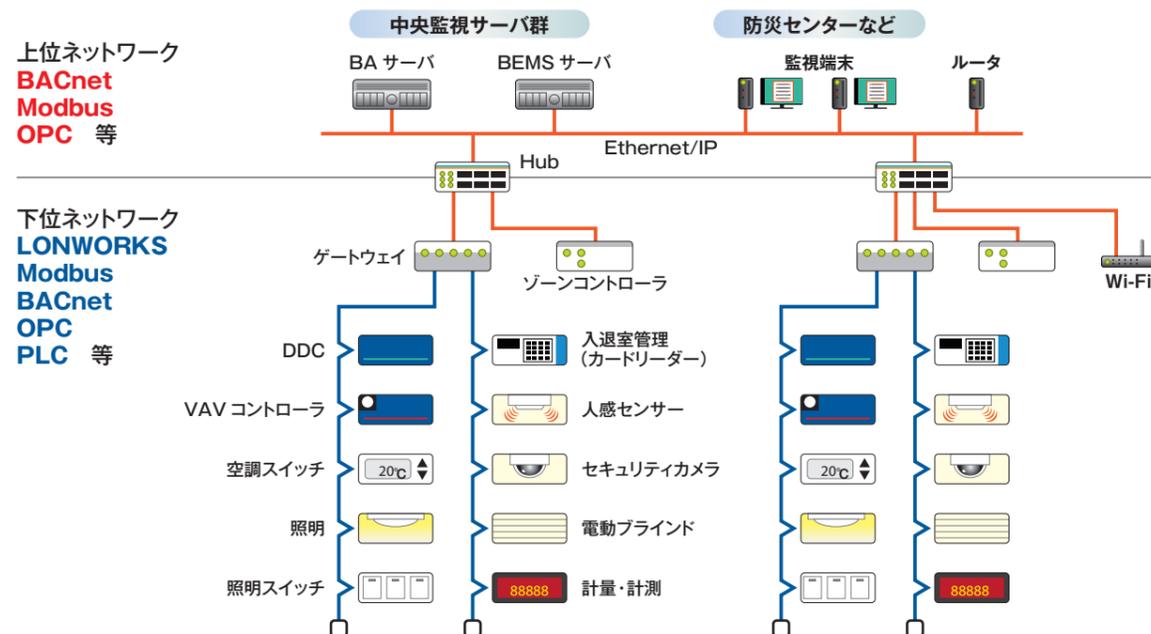
### 三建設備工業の技術力を結集

Sanken Smart BA System® (SSBS)は、三建設備工業の多彩な施工実績と長年の経験に支えられた信頼性の高いシステムです。様々なニーズに対応し、的確な制御・監視システムを構築します。お客様のメリットは、機能の拡張や最新のセキュリティシステムへの更新を容易にし、修繕や改修コストを安価に抑えています。リニューアル案件では建設当時より進化しているIoTにより、多棟管理や遠隔監視などの要求に幅広く対応しています。



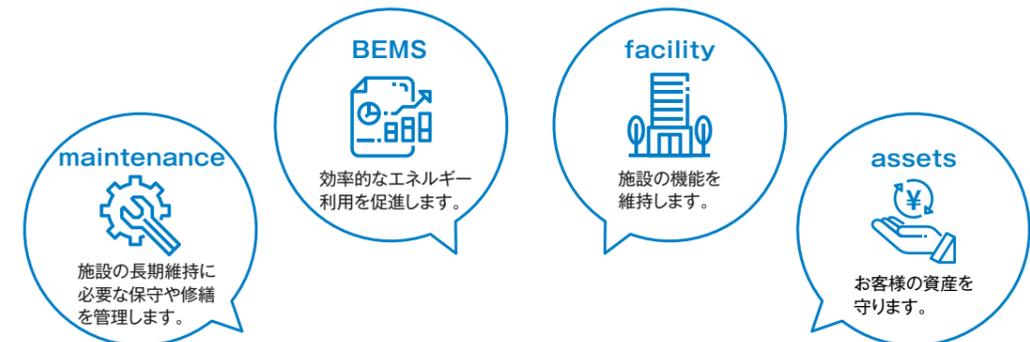
### 建物統合管理に変革をもたらす!

空調、電気設備等、様々な機器をひとつのシステムで監視が行えるフルオープンシステムを採用。最新のIoTソリューションを活用したシステムで、あらゆるモノとモノがメーカーを問わずインターネットを通し、簡単に繋がり、容易に制御できます。無線技術の活用、遠隔監視技術による運用、クラウドベースの統合管理システムを構築します。



### BIM統合プラットフォーム (BUP) による施設管理

BIMデータによりお客様のニーズに対応した管理用UIを作成します。設備機器の運転時間やメンテナンス管理、工場の生産装置、事務所の什器、パソコンなどの施設内全ての物に対し一元管理を可能とします。

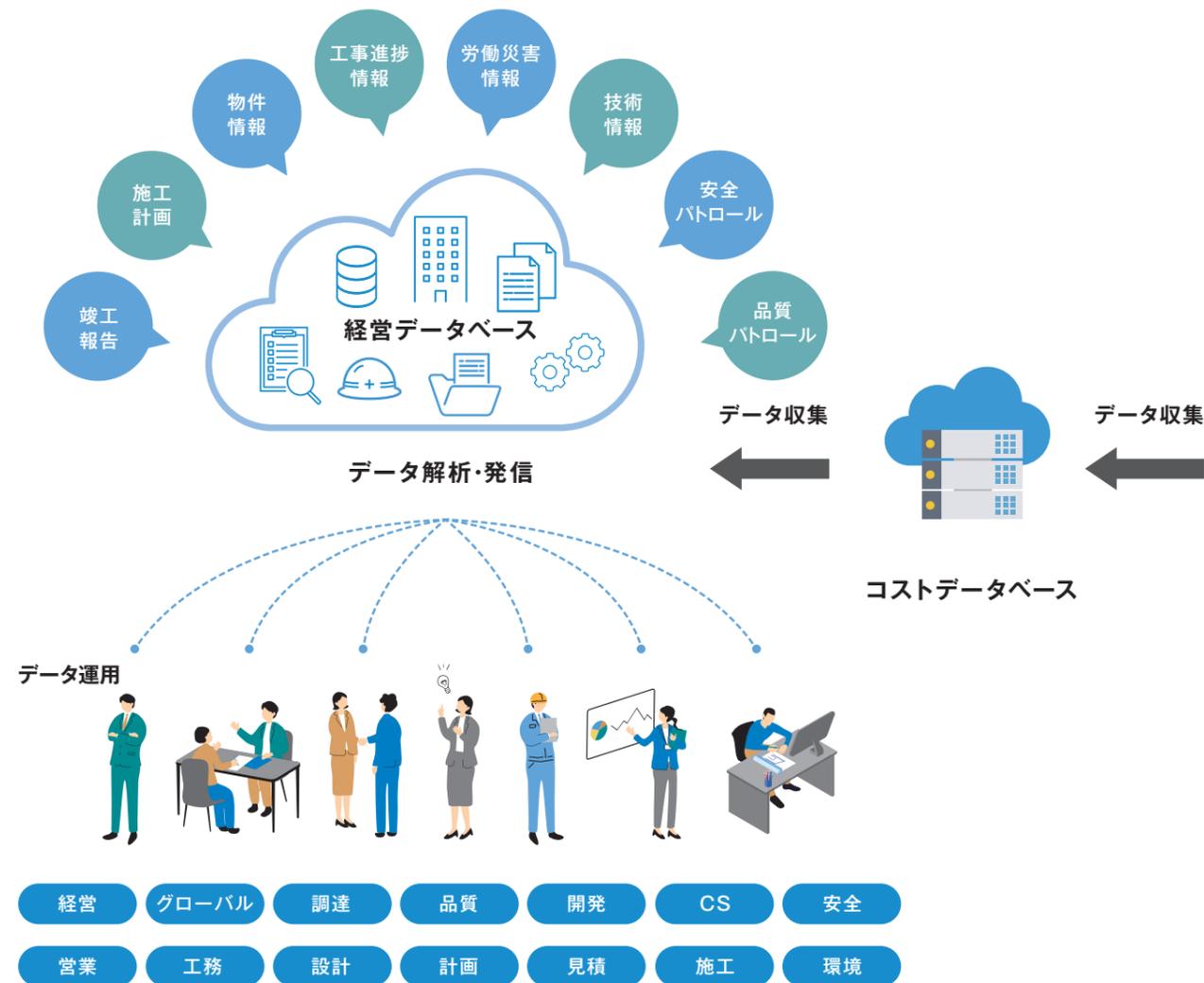


# デジタル技術とデータ活用による新たな価値の創出

## 物件データの収集・解析、発信・運用

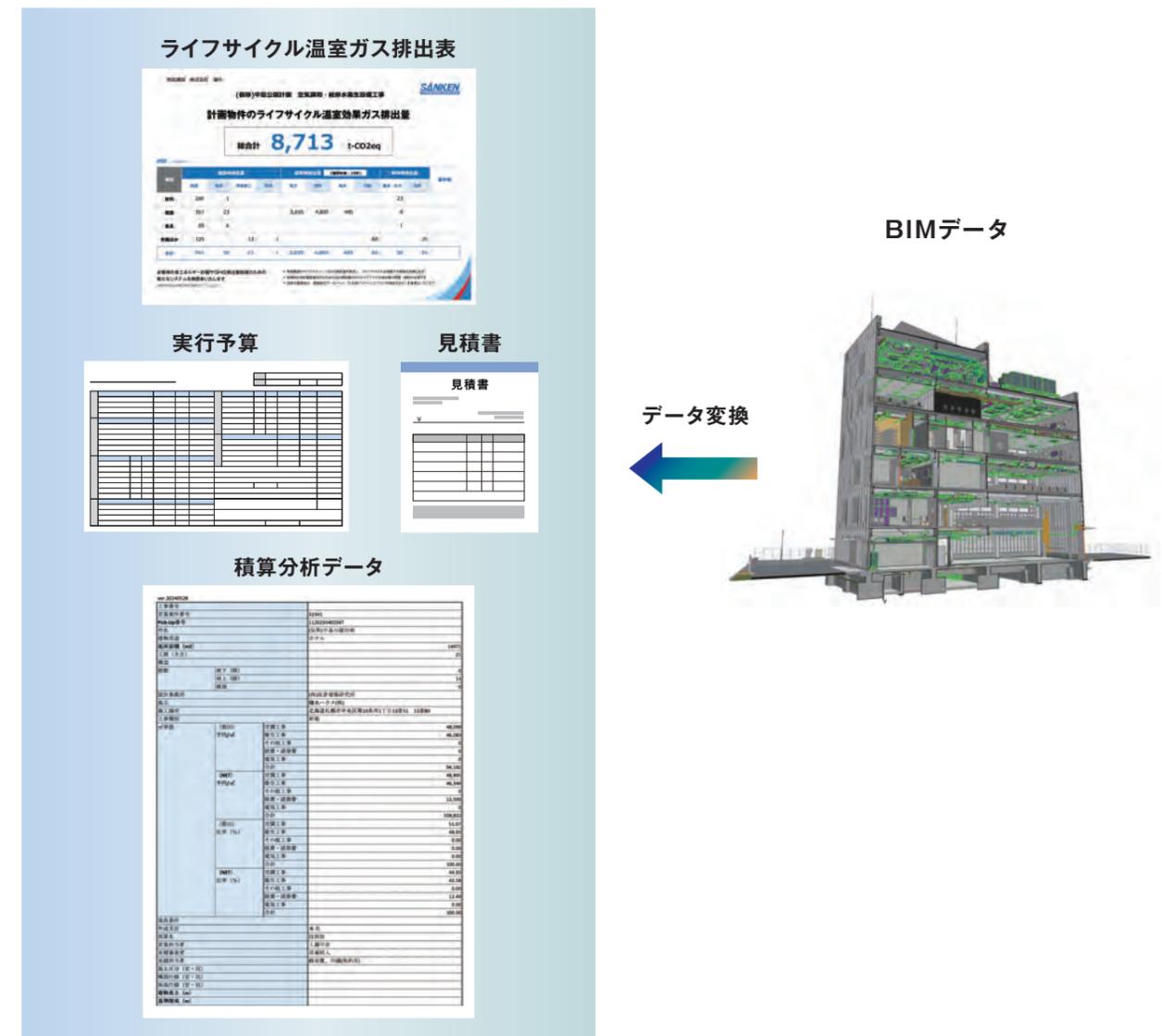
### ■ 経営データ見える化による適切な経営判断

施工、品質、システム調整などの技術情報や安全情報、見積、予算、原価等のコスト情報をクラウド上に収集し、解析により経営データとして必要な情報を発信します。営業、設計、見積、調達、施工などの各過程で有効な情報として運用します。



### ■ BIM連携積算システムの活用

BIMの部材属性データをコストに変換し、コストコントロールによりお客様の予算に合わせた設計を可能としました。BIM連携積算システムは見積書から実行予算作成や積算分析データを作成し、対応物件のコストデータベースを構築します。また見積書からライフサイクル温室ガス排出量を算出し、環境負荷を把握し削減対策を検討します。正確な算定は持続可能な社会の実現に貢献します。

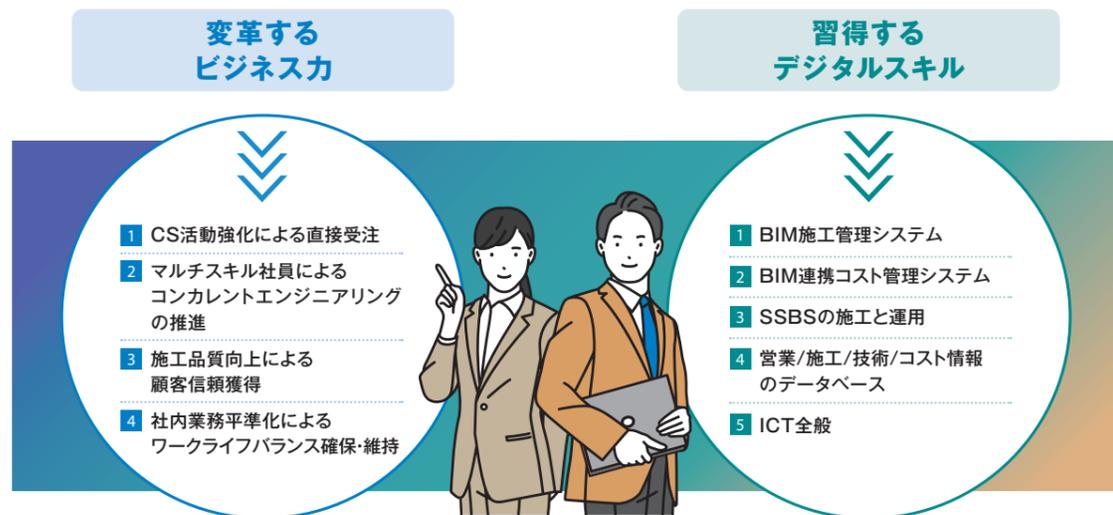


# 人を育てる

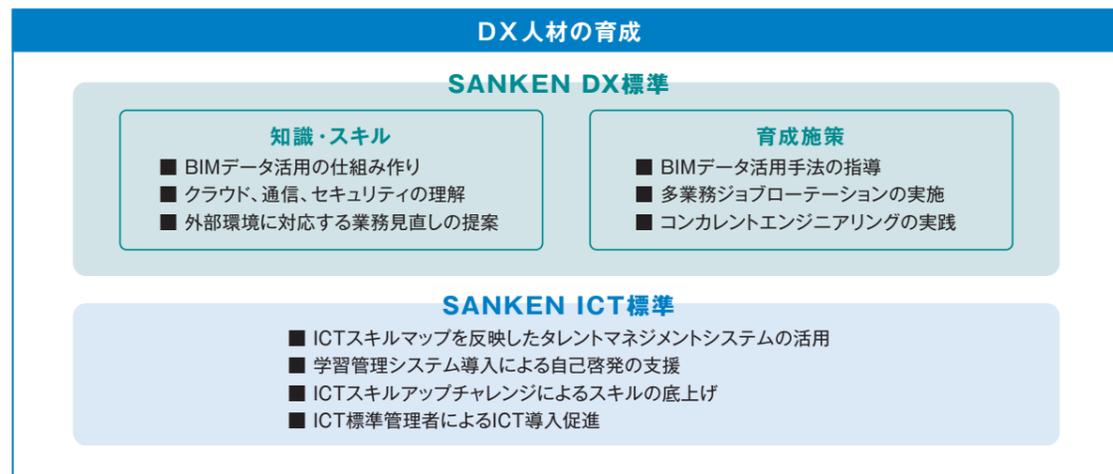
## DX人材の育成(学ぶ力でDXを加速する)

社員のデジタルリテラシー向上とデジタル人材育成を最重要施策の一つとしています。  
会社全体のデジタル対応力を高め、社会やお客様の期待を超える価値創造を目指します。

### SANKENが目指す人材像



### SANKENのDX人材の育成



### DX人材の育成計画



### DX人材の主な役割

人 材	主な役割	対応者
DX統括マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX推進に必要な知識やスキル及び人材育成を策定する。</li> </ul>	DX推進本部長
DX推進リーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX推進の責任者としてリーダーシップを発揮する。</li> <li>DX推進に必要な人材を指名及び育成する。</li> <li>DXツール等の企画導入、DXの効果的施策、DXによる業務改革を推進する。</li> <li>支店内の各部署と連携し、コンカレントエンジニアリングの定着、DX推進の責任者としてリーダーシップを発揮する。</li> </ul>	DX推進部 CE推進センター (支店CE <sup>※1</sup> ・DX責任者) (支店FAB責任者 <sup>※2</sup> ) 支店CE・DX推進統括
ICT管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術・情報を業務に活用でき、高い生産性を実現できるノウハウを水平展開し指導する。</li> <li>社員に対するICTの活用支援、情報セキュリティ教育を実施する。</li> </ul>	DX情報企画部

※1 CE : Concurrent Engineering  
 ※2 FAB (Front loading and Back office) 責任者 : バックオフィスにおいてコンカレントエンジニアリング・DXを手法として現場のフロントローディングを行うリーダー



DXレポートに関するご相談・お問い合わせ

---

### 三建設備工業株式会社

〒104-0033  
東京都中央区新川1-17-21  
茅場町ファーストビル

お問い合わせ先

DX推進本部

**TEL 03-6280-2561**

**HP <https://skk.jp>**

---

2025年7月発行